

平成 30 年度全日本ラージボール卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 平成 30 年度全日本ラージボール卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 30 年 6 月 22 日 (金) ～6 月 24 日 (日)
- (3) 会 場 別府市総合体育館 (べっぷアリーナ)
J R 「別府」 駅より徒歩約 10 分
〒874-0902 大分県別府市青山町 8-37 TEL (0977) 21-2323
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 大分県卓球連盟
- (6) 後 援 大分県教育委員会、(公財)大分県体育協会、別府市、別府市教育委員会、
(予定) 別府市体育協会、大分合同新聞社
- (7) 競技種目
- イ. シングルス :
- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①一般男子シングルス (年齢制限なし) | ⑩一般女子シングルス (年齢制限なし) |
| ②男子シングルス 40 (40 歳以上) | ⑪女子シングルス 40 (40 歳以上) |
| ③男子シングルス 50 (50 歳以上) | ⑫女子シングルス 50 (50 歳以上) |
| ④男子シングルス 60 (60 歳以上) | ⑬女子シングルス 60 (60 歳以上) |
| ⑤男子シングルス 65 (65 歳以上) | ⑭女子シングルス 65 (65 歳以上) |
| ⑥男子シングルス 70 (70 歳以上) | ⑮女子シングルス 70 (70 歳以上) |
| ⑦男子シングルス 75 (75 歳以上) | ⑯女子シングルス 75 (75 歳以上) |
| ⑧男子シングルス 80 (80 歳以上) | ⑰女子シングルス 80 (80 歳以上) |
| ⑨男子シングルス 85 (85 歳以上) | ⑱女子シングルス 85 (85 歳以上) |
- ロ. 混合ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とする。
- | |
|--------------------------|
| ①一般混合ダブルス (年齢制限なし) |
| ②混合ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③混合ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④混合ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤混合ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥混合ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦混合ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧混合ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |
- (8) 試合方法 ①各種目とも 11 ポイント 3 ゲームマッチとする。
②全ての種目は、第 1 ステージは 3～4 名 (組) によるリーグ戦とし、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位の者 (組) によるトーナメント方式とする。
(1 種目 1 トーナメント)
- (9) 競技日程 (日程については参加申込数などにより変更することがあります。確定次第本会ホームページにて掲載いたしますのでご承知おき下さい。(6 月上旬予定))
- | | | | |
|------|--------------|--------------------|-------------|
| (予定) | 6 月 21 日 (木) | 受付、練習 | (13:00～) |
| | 22 日 (金) | 開会式 | (11:00～ 予定) |
| | | 混合ダブルス (一部決勝まで) | |
| | 23 日 (土) | 男女シングルス (第 1 ステージ) | |
| | | 混合ダブルス (決勝まで) | |
| | 24 日 (日) | 男女シングルス (決勝まで) | |
| | | 閉会式 | (14:00～ 予定) |
- (10) 競技ルール ①現行のラージボール卓球ルール (競技ルール) による。
②使用球は、JTTA 公認プラスチック球 44 mm を使用する
③表ソフトラバー (粒高ラバーを除く) のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
④ゼッケンは平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑤第 1 ステージの審判は選手の相互審判で行う。

- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成30年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。
 - ②年齢は、平成31年4月1日迄に当該年齢に達している者であること。
（但し、一般に出場する選手の年齢制限はない）
（イ）40（40歳以上）は昭和54年4月1日以前に生まれた者。
（ロ）50（50歳以上）は昭和44年4月1日以前に生まれた者。
（ハ）60（60歳以上）は昭和34年4月1日以前に生まれた者。
（ニ）65（65歳以上）は昭和29年4月1日以前に生まれた者。
（ホ）70（70歳以上）は昭和24年4月1日以前に生まれた者。
（ヘ）75（75歳以上）は昭和19年4月1日以前に生まれた者。
（ト）80（80歳以上）は昭和14年4月1日以前に生まれた者。
（チ）85（85歳以上）は昭和9年4月1日以前に生まれた者。
 - ③各選手はシングルス、混合ダブルスの両種目出場することができる。
 - ④第31回全国ラージボール卓球大会に申込みをする選手は出場できない。
（予選会については都道府県に一任する）
*混合ダブルスはペア解消してもその年度はどちらか一つの大会のみ出場できるものとする。
 - ⑤平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会シングルス8位、ダブルス3位（4組）までに入った選手は翌年度全国ラージボール卓球大会には出場できない。（第32回大会）ただし、混合ダブルス3位までに入りペア解消時は翌年度全国ラージボール卓球大会に出場できる。（その場合、推薦資格はありません）
 - ⑥同一種目内において、一般と年代別を重複して出場はできない。
 - ⑦混合ダブルスのパートナーは同一加盟団体の者に限る。
 - ⑧本大会は選手登録されている各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。必ず各都道府県の加盟団体の責任者が全種目を一括して申し込むこと。
 - ⑨審判ができること。（できれば公認審判員の資格を有することが望ましい）
なお、帯同者が代わりに審判をしてもよい。
 - ⑩無条件参加選手（別表参照）
第30回全国ラージボール卓球大会Aクラス（クラス分けのないシングルス80、85、混合ダブルス150、160含む）優勝者は当該年齢種目または下の年代の種目の1つに出場できるものとする。混合ダブルスのペア解消した場合は推薦出場できない。

(12) 参加数

シングルス男女各枠		混合ダブルス	
都道府県名	人数	都道府県名	組数
東京,愛知	各40名	東京,愛知	25組
北海道,静岡	各30名	北海道,神奈川,静岡	15組
千葉,神奈川,新潟,大阪	各25名	埼玉,千葉,新潟	12組
青森,山形,福島,茨城,栃木,埼玉,富山,山口	各15名	青森,宮城,秋田,山形,福島,茨城,富山,大阪,山口,徳島	10組
岩手,宮城,秋田,広島,香川,徳島,福岡	各10名	岩手,栃木,群馬,山梨,長野,石川,福井,三重,岐阜,滋賀,京都,兵庫,奈良,和歌山,鳥取,島根,岡山,広島,香川,愛媛,高知,福岡,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄	9組
群馬,山梨,長野,石川,福井,三重,岐阜,滋賀,京都,兵庫,奈良,和歌山,鳥取,島根,岡山,愛媛,高知,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄	各9名		

主管地は男女シングルス各20名と混合ダブルス20組を増枠する。

- (13) 参加料 シングルス1名 3,000円、ダブルス1組 4,000円

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会)

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでお申込みください。(メールアドレスは、申込書に記載。)

〔Ⅰ〕〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

〔Ⅱ〕〒870-0114 大分県大分市小中島2-517 豊和卓球センター内
大分県卓球連盟 宛
TEL (097) 576-9775、FAX (097) 576-9776

なお、大会申込システムを使用の場合は通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

注) 個人またはチームからの(公財)日本卓球協会への直接申込および送金は受け付けない。

必ず各都道府県の加盟団体が上記参加資格を確認し、一括して申込みをするものとする。

- (15) 申込締切 平成30年4月20日(金)必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (16) 表彰 各種目1~3位までとし、該当選手にメダル、表彰状を授与する。
※参加者が8名(組)に満たない種目は1、2位のみ表彰とする。
- (17) 宿泊 後日、株式会社TEAMより各都道府県の加盟団体へ連絡する。
TEL:096-237-6763
- (18) その他 ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
③10回出場表彰を行います。該当大会は全日本ラージボール選手権大会出場回数となります。
(10回目の出場者が対象。平成30年度が1回目となります。一度表彰された方は該当しません。)
④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受ける事。
⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応致します。
⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

【別表1】第30回全国ラージボール卓球大会Aクラス優勝者

一般男子	一般女子
1. 池田 亘通 (北海道) 南芽部少年団 1. 相澤 光 (愛知) 本城クラブ	1. 内海 麻里 (大阪) 長吉卓球センター
男子40	女子40
1. 三島 崇明 (北海道) 翔くんとゆかいな仲間達	1. 鹿目里江子 (東京) Hachitaku
男子50	女子50
1. 吉田 健二 (愛知) 刈谷サタデークラブ 1. 山本 保 (石川) ななおクラブ	1. 大津絵美子 (香川) 丸亀SC 1. 馮 敏 (岐阜) シャイン
男子60	女子60
1. 井上 啓 (静岡) 井上卓球 1. 斉藤 斉 (静岡) しずおか信用金庫	1. 高橋美根子 (山形) スマイル会 1. 國松 愉美 (高知) 國松企画
男子65	女子65
1. 村上 力 (宮城) 桔梗苦羅舞 1. 尾関 文憲 (愛知) 一宮クラブ	1. 宮澤喜美子 (東京) 卓習会 1. 田村ミサ子 (福島) 会津クラブ
男子70	女子70
1. 市川長太郎 (静岡) 静岡ラージ 1. 塩田 武志 (栃木) TOCHIGI 1. 岩坂 達哉 (北海道) 卓栄会	1. 平田 洋子 (東京) 武蔵野クラブ 1. 松村けい子 (静岡) 静岡クラブ 1. 宮下 弘子 (新潟) 卓好クラブ
男子75	女子75
1. 安久津吉延 (岩手) 釜石卓球クラブ 1. 本多 清美 (愛知) チーム・HND	1. 岡島 瑞枝 (広島) 安クラブ 1. 中原 良子 (山口) 岩国東同好会
男子80	女子80
1. 小野塚章司 (千葉) ベガクラブ 1. 石田 公典 (東京) 小金井卓連 1. 池内 祥治 (熊本) SEIZANクラブ	1. 原田 哲子 (山口) 柳友クラブ 1. 長瀬ちづ子 (愛知) 明誠クラブ 1. 土屋 慶子 (東京) 卓美会
男子85	女子85
1. 古畑富士夫 (静岡) 浜北クラブ	1. 小笠原まさ子 (山形) 卓愛会
一 般 混 合	
1. 武田 麗/武田 佳那 (愛媛) フォーネット	
混 合 80	
1. 藤本 武司/小野 千代 (東京) ニックサンフレッド/卓精会	
混 合 100	
1. 山田 昭仁/小長井千恵子 (静岡) 青嵐クラブ/静岡クラブ	1. 村上 力/村上 富貴 (宮城) 桔梗苦羅舞
混 合 120	
1. 弘光 利彦/濱川 永子 (高知) 四国銀行/國松企画	1. 才田 和昭/才田 道子 (富山) 福光卓愛会
混 合 130	
1. 柴田 和正/川澄 真弓 (愛知) ザ・安祥/エムクラブ	1. 濱西 隆重/横山祐見子 (高知) ピンポン館
混 合 140	
1. 天野 勝巳/八木 淳子 (徳島) 城西ラージ/個人	1. 櫻井晴一郎/松村けい子 (静岡) 白龍クラブ/静岡クラブ
混 合 150	
1. 渡部 洋一/田崎 朝子 (福島) 会津クラブ 1. 山内 富裕/三上 民江 (青森) 青森ミドルエイチ卓球クラブ	1. 川原田伸一/中道多美子 (山口) 卓愛会宇部/柳友クラブ
混 合 160	
1. 林 力/畑山しげ子 (北海道) 札幌高卓会	1. 古畑富士夫/谷野 弘子 (静岡) 浜北クラブ/浜松リース